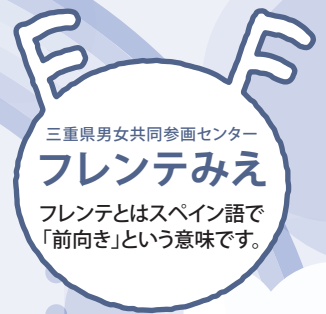


# Frente



2025. 6

vol. 101

特集!

誌上 Report

男女共同参画フォーラム ～みえの男女<sup>ひと</sup>2025～  
『虎に翼』ジェンダー考証担当者と考える  
“生きづらさ”と“自分らしさ”

誰もが透明化されない世の中へ

## 事業ご案内

- 働く女性ためのファシリテーション講座  
—上手な意見の伝え方、  
わたらしい話し合いへの関わり方—
- アソボ・マナボ・タノシソウブン 2025  
「アイラブミー」のワークショップ
- おつかれさま お母さん

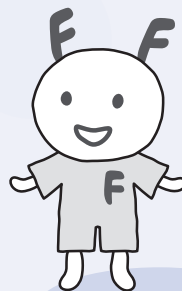
## 事業報告

- 種まきプロジェクトⅡ “働く”編  
近未来リーダー☆育成プロジェクト
- みんなでつくるフレンテ交流会  
「フレク de 餅つき!」
- ホワイトリボンラン 2025 in みえ
- 女性のための自分を好きになる  
トレーニング

## コラム

- なぜ?なに?男性のための相談

ほか



# 『虎に翼』ジェンダー考証担当者と考える “生きづらさ”と“自分らしさ”

開催日

3月8日(土)

フレンテみえが3月8日の「国際女性デー」にあわせて毎年開催している「男女共同参画フォーラム」。今回は、NHK連続テレビ小説『虎に翼』でジェンダー・セクシュアリティ考証を担当された前川直哉さんをお迎えし、だれもが自分らしく生きる道を自分で選んでいくための、たくさんのヒントやメッセージをおうかがいしました。そのなかから(ほんの一部ですが)、情報誌の読者の皆さまへ誌上 Reportとしてお届けします!

## 前川直哉さん スペシャルトーク

### ジェンダー・セクシュアリティ考証とは

本作の舞台となっている昭和30年代にも実際には男性同性愛者やトランスジェンダーの人々は存在していましたが、社会の中でもメディアでも「いないこと」にされてきました。脚本家の吉田さんは、そうした「透明化された存在」を描こうとしていました。

そのため、当時の男性同性愛者の歴史的背景や描写について考証を行う必要があり、「ジェンダー・セクシュアリティ考証」という肩書で依頼がありました。この肩書は朝ドラ110作目となる本作で初めてです。

具体的には、時代設定に合わない表現(例:「ゲイ男性」という言葉は当時使われていない)のチェックや性的マイノリティ当事者を傷つける表現がないかなどを確認しました。同時に、当時の女性の生き方や価値観についてもジェンダー史の観点からチェックをするという役割も担っていました。

### 大正時代から男性同性愛者の悩みは、 今とほとんど変わっていない。

大正時代の男性同性愛者の主な悩みは3つ。

- ①周囲に打ち明けられない
- ②好きになれる相手がいない・出会いがない
- ③結婚のプレッシャーに困っている(親や社会から「結婚しろ」と言われる)

当時の雑誌を読むと、内容は現代と驚くほど似ていることがわかります。こうした状況が続く中、戦後になると「アドニス」などのミニコミ誌やゲイバーなど、当事者たちが自分たちの居場所を作る動きも出てきました。

日本に「同性愛」概念が輸入された大正時代からすでに「同性同士で結婚できたらいいのに」と書き残している人もおり、同性婚の願いは昔から存在していたことがわかります。

## 男性同性愛者と女性同性愛者

女性同性愛者(レズビアン)はどうだったのか?

実は、歴史的資料がほとんど残されていません。例えば、1970年以降に刊行されたゲイ雑誌は約2,000冊残っているのに対し、レズビアンやバイセクシュアル女性向けの雑誌はわずか30冊ほどしか確認されていません。

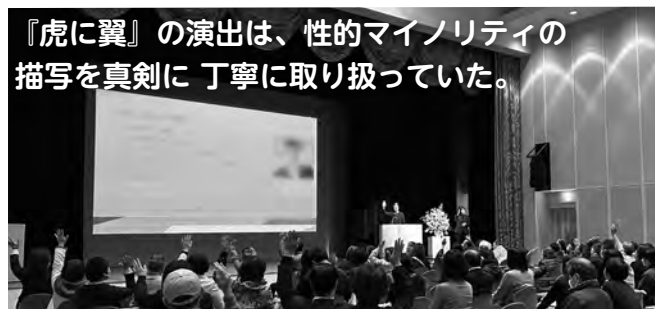
その理由は大きく2つ。

- ①経済的・時間的自由の格差
- ②女性が「性の主体」になることへのハードル(女性は性欲を持っているということを自覚しづらい)

そのため、女性同性愛者は男性同性愛者に比べ、社会的にも文化的にも可視化されにくく、コミュニティも形成されにくい状況にありました。

テレビ放送ではカットされましたが、この点についても吉田さんは描いています。作中、男性同性愛者の遠藤さんが「女性にも同性愛者はいると思うが、男性のように自由になるお金も時間もないから、集まるのが難しい」と語り、それに対して寅子が「こんなところにも男女の差があるんだ」と応じました。シナリオ集にはこの重要なセリフが記載されています。

## 『虎に翼』の演出は、性的マイノリティの描写を真剣に 丁寧に扱っていた。



轟と寅子の関係性や視線の演出では、カメラワークによる細やかな感情表現が込められています。例えば、轟を下から撮ることで寅子の視点を再現し、逆に轟が弱さを見せるシーンでは上から撮影されていました。第100話、「今俺がお付き合いしているお方だ!」と、自身が男性同性愛者であることを轟がカミングアウトする場面も、BGMを排除し、静かで力強い演出に。轟のキャラがコミカルになりすぎないように、真剣なトーンを維持されていました。また、アウティング(他人の性的指向などを勝手に明かすこと)への配慮もあり、セリフや視線、アイコンタクトにまで細かな配慮がされていました。

ほかにも、性の多様性についての基礎知識や、『虎に翼』の中で印象的だったシーンなどもお話いただきました。

その内容は、フレンテみえのホームページにて公開中のWeb限定コラム男女共同参画ゼミ「多様な性と性的マイノリティ〜朝ドラ『虎に翼』の考証をして〜」でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



☺CHECK

# 男女共同参画フォーラムでは 午後のホールイベントだけでなく 午前中には5つの分科会を 実施しました！

それぞれの分科会の様子も紹介します



## 分科会1

### 第37回農山漁村のつどい

(主催:「第37回 農山漁村のつどい」実行委員会)

分科会1は「繋ごう、農山漁村の新たなカタチ!」をテーマに、異業種から農林水産業に参入し、新たな取り組みを進めている株式会社フジ技研の鏡谷有紀さんに講演いただきました。異業種からの新規参入の課題やそれをどう乗り越えたか、そして鏡谷さんの熱い想いに参加者の皆さん耳を傾けておられました。講演後は意見交換会も行われました。



## 分科会2

### ひとまずOK! 私の働き方

(主催:働く女性のネットワーク三重、後援:三重キャリア形成リスキリング支援センター)

分科会2では、キャリアコンサルタントの川村久実さんを講師にお招きし、ワークショップを開催しました。参加者の皆様からは、「考えて、言語化して、スッキリした」「楽しくてあっという間でした」「気持ち的に、未来が明るくなってきた」など、嬉しいお言葉を多数いただきました。初めてご参加いただいた方々との交流も深まり、次年度の定例会がさらに楽しみになる会となりました。2025年度も様々な企画をご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

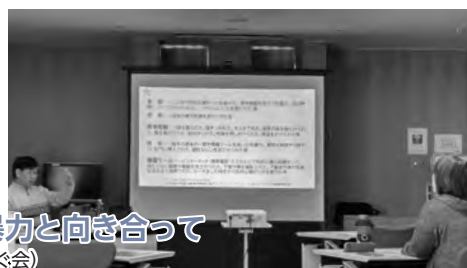


## 分科会3

### 女性の連帯100年 ～市川房枝を中心に～

(主催:男女共同参画みえネット、共催:三重の女性史研究会)

女性の参政権を求め、金子しげりらと結成した婦人参政権獲得期成同盟会は、翌1925年婦選獲得同盟と改称しました。市川房枝を中心に女性の連帯100年を掘り下げました。市川の愛知女子師範時代のストライキ、女性差別撤廃条約の署名を迫る活動など、また三重県の女性たちの行動も含め発表。さらに「女性差別撤廃条約を活かしていない日本の現状」と題し、男女不平等の現状と2024年10月に行われた日本報告審議についても発表しました。



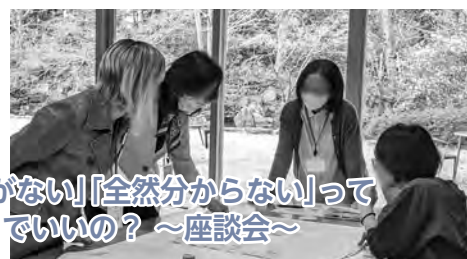
## 分科会4

### 学校での性暴力と向き合って

(主催:声を聴きつなぐ会)

分科会4では学校での性暴力被害の当事者として、性暴力の無いあたたかい社会を作るために活動している「声を聴きつなぐ会」さんによる講演が行われました。

当事者の方が経験した性暴力のこと、学校という環境の権力構造のことなどが実体験を交えて生々しく語られました。どうすれば社会から性暴力が無くせるのか、この社会で暮らす私たち一人ひとりが考えていかなければいけないと感じさせられました。



## 分科会5

### 「政治に関心がない」「全然分からない」って 言ってるままでいいの? ～座談会～

(主催:フレンテみえ)

分科会5では、フレンテみえの講座受講者を中心に、政治について考える座談会を実施しました。

参加者からは、「投票所を身近な場所にしたりWEB投票を導入したりして、もっと気軽に投票できるようにしてほしい」「議会モニターに参加する」「若い世代に興味を持てるような教育が大事」「自分のモヤモヤがどう政治につながっているかを考えあえる場所、安心してモヤモヤを話せる場所がほしい」等、たくさんの意見がでました。

フレンテみえ 種まきプロジェクトII “働く”編

## 近未来リーダー☆育成プロジェクト STEP5 指導育成スキルアップのためのレクチャー

開催日

1月25日(土)、2月22日(土)、3月1日(土)

5年間続けてきた働く女性のためのセミナー「近未来リーダー☆育成プロジェクト」の最終年です。「指導育成スキルアップのためのレクチャー」をテーマとして、オンデマンドの基調講座と3回の実践セミナーを実施しました。

基調講座では、DEI(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)の特にエクイティの視点を学び、セミナーではコーチングを取り上げました。コーチングとは違う。自己防衛は自己投影。他者のコーチングにはまず自分を知ること。良いコーチングはコーチングの関係性にある。等、心理学も交えたコーチングの理論を体系的に学ぶことができました。受講者の皆さんは、デモセッションや演習にとっても主体的に取り組んでいました。分からないことは質問として講師にぶつけ、その回答も全員でシェアすることで、理解が深まっていった印象です。アンケートを見ると、学んだスキルをすぐに実践したい、部下や後輩の育成に活かしたいという具体的なコメントが多くあります。受講者の皆さんの活躍が周囲にも浸透し、働く場の意思決定に関わる女性が増え、働きやすい風土づくりが進むことを期待します。



## フレンテみえパートナーグループ・サポーターのみなさんの交流イベントFrente-Recreation みんなでつくるフレンテ交流会「フレク de 餅つき！」

開催日

2月24日(月・振)



「フレク」はフレンテみえに登録していただいているパートナーグループやサポーターの皆さんが集まって、交流を深める会です。今回は6年ぶりの「お餅つき」で交流を深めました。

前日から男性料理グループの「ひろみ会」さんを中心に食材や道具の準備を開始。当日は9時半に皆さんが集合して、もち米を「蒸す」、石臼と杵で「つく」、手で「かえす」、お餅を「ちぎって、まるめる」、お餅になるまでの工程を楽しみながら、大人も子どもも、自分たちで仕上げたつきたてのお餅に舌鼓。定番のあんこ餅、きなこ餅、大根おろし餅以外にも、ほうれん草の菜餅、大根菜の胡麻みそ餅、生姜餅が大人気で、会話が弾んで楽しい時間を皆さんで過ごされていました。

開催日

3月2日(日)

## ホワイトリボンラン2025 in みえ

ホワイトリボンは、世界中の女性がより健康に、自分らしく生きることを支援する運動のシンボルです。その支援の輪を広げるためのチャリティランイベント「ホワイトリボンラン2025 in みえ」を開催しました。会場のHOWAパークには約20名の方が集まり、お揃いの公式Tシャツを身にまとい元気に楽しく走りました。

当日の天気は雨予報でドキドキでしたが、皆さんの願いが届いたのかお天気も味方してくれました。女性の健康と幸せを願いながら、それぞれのペースで走り切った後は笑顔&思い思いのポーズでゴール！走り終わった後は記念撮影をしたり、撮影した写真をSNSに投稿したりと、心地よい汗と笑顔がはじける時間となりました。

「走ろう。自分のために。誰かのために。」の合言葉のもと、温かく楽しい輪が広がるイベントでした。



開催日

4月12日(土)、13日(日)

## 女性のための自分を好きになるトレーニング

フェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんを講師にお迎えし、2日間の講座を実施しました。「自己尊重感(自尊心)が高すぎるとわがままになる」と思われがちですが、それは誤解であり、自尊心とは自分が自分であることの土台だというお話から講座が始まりました。高い自尊心があれば、自分にとってよりよい選択ができるのと同時に、性差別社会を変えていくための力にもなるということです。

しかし女性は社会・文化的状況によって自尊心の成長を妨げられている、つまり妻や母としての女性役割に適応するうちに自分をなくしていくことを学びました。「自己尊重スケール」「自尊心に影響を与えるもの」「自分を守るコミュニケーション」「自分をほめるレッスン」等のワークに取り組み、感想を共有することで、これまでの自分について気づき、これからどう生きていくかを考えるきっかけとなったようです。「自分の欠点にばかり目がいていたが、自分を大事に自尊心を育てていきたい」「今の自分でいいんだと安心できた」などの感想が寄せられました。



性別を巡る“モヤモヤ”

## マンガにしました!

監修: 合田 文さん(株式会社TIEWA代表取締役)

### “性別に関する「決めつけ」「思い込み」 あなたの身の回りにも

皆さんは「男だから」「女だから」と性別を理由に決めつけられたり、それによってモヤモヤとした感情をいだいたことはありませんか?

昨年、そういった性別を巡る固定観念にモヤモヤしたり、多様性について考えさせられるエピソードを募集したところ、皆さんからたくさんエピソードをお寄せいただきました。職場、家庭、子どもの頃の体験などエピソードの舞台も様々で、日常の中にジェンダーに関する課題がひそんでいることを改めて感じさせられました。



フレンテみえでは、お寄せいただいたエピソードをもとに性別に関する「決めつけ」や「思い込み」について考えるストーリーを作成し、これを県内の大学生や高校生、SNS上に漫画を投稿されている方と一緒に漫画にしました。

ジェンダーに関する問題は、決して特別なことではなく、日常の中にひそんでいます。漫画を通して、自分の身の回りにあるかもしれない「違和感」や「モヤモヤ」に目を向けてみませんか。



作成した漫画は  
フレンテみえ公式  
Instagramやホーム  
ページ上で公開中。  
ぜひご覧ください!

事業予告

働く女性のためのファシリテーション講座  
—上手な意見の伝え方、わたらしい話し合いへの関わり方—

昇進やキャリアアップを「したくない」割合は、女性が男性より29.4%、女性が39.4%と、10.2ポイントの差があります。女

8/23

## おつかれさま お母さん

いいお母さんでいたいのに、現実はどうもできない。そんな自分はだめなお母さんだ…。子どものためにもっと頑張らなくっちゃ。他のお母さんはみんなやっているんだし…。そんな思いを抱えながら子育てをされていますか？

フレンテみえの女性相談には、こういった悩みが数多く寄せられます。子育ては母親だけ、女性だけのものではありません。周囲の大人たちが手を取り合い、子どもを育てていける社会になればと願います。

まだまだ子育ての責任を母親ばかりに求めがちな今の社会で、子育てに奮闘しているお母さん方に向けた講座を8月に実施します。前半は参加者の子育てエピソードをもとにした講師からの講義と語り合い、後半は自分のために花束を作るセルフケアワークショップ(協力:CHELBAN)の二部構成で行います。子育てを一人で抱え込むと孤独になりがちです。夏休み終盤、お母さん同士でつながり「おつかれさま」とみんなで労わりあいましょう!



### 事業案内

**日時** 8月23日(土) 13:30~16:30  
**会場** 三重県総合文化センター内  
 三重県男女共同参画センター  
 「フレンテみえ」3階 セミナー室C  
**対象** 子育て中の県内在住・在勤・在学の女性  
**参加費** 無料  
**定員** 50名 応募多数の場合抽選  
**講師** 福田由紀子さん(フェミニストカウンセラー)  
**託児** あり 要事前申込 1歳6ヶ月~小学3年生程度  
 無料 託児申込締切 8月9日(土)



8/24

## フレンテにじいろプロジェクト

## 多様な性とわたしたち ~SOGIEインクルーシブな学校環境づくりに向けて~

令和7年度から新たにスタートする「フレンテにじいろプロジェクト」は、性の多様性の理解を深め、認め合う社会づくりを進めるため、形式にとらわれずLGBTQ+に関する課題について発信する事業です。

初回となる今年度は、「SOGIEインクルーシブな学校環境づくり」について、教職員や教育関連従事者向けの講座を開催します。

いろいろな性のあり方の人たちがいることはなんとなく聞いたことがあるという方も増えてきましたが、具体的に学校のなかでどのようなことで困るのかわからない、学校としてはどういった対応ができるのか不安だという方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。ただ一つの正解があるわけではないかもしれませんが、事前に知識を得たり、対話を重ねたりしながらより良い環境を作っていくことはできるはずですよ。

すべての学校をセクシュアルマイノリティの子どもたちにとっても過ごしやすい場所に近づけるために、必要な意識や知識、対応の視点などについて、講座をとおして一緒に考えていきましょう。

### 事業案内

**日時** 8月24日(日) 13:30~15:30  
**会場** 三重県総合文化センター内  
 三重県男女共同参画センター  
 「フレンテみえ」3階 セミナー室C  
**対象** 教職員ほか学校関係者、教育関連事業関係者  
**参加費** 無料  
**定員** 40名  
**講師** 認定NPO法人ReBit **ReBit**  
**託児** あり 要事前申込 1歳6ヶ月~小学3年生程度  
 子ども一人につき1,000円  
 託児申込締切 8月10日(日)

9/13

## フォーカスみえ

## 自分を大切にするためのフェムテック

女性は、月経や妊娠・出産、更年期など、様々なライフステージを経験します。それぞれの段階で特有の健康課題があり、ホルモンバランスの影響で心身に変化が現れることもあります。こうした変化にうまく対応し、自分らしく活躍するために、「フェムテック」や「フィトセラピー(植物療法)」の力を借りてみませんか? 自分の体調や心の変化にうまく対応する方法について学ぶとともに、性に対するネガティブなイメージをなくし、自分の性を大切にすることを深めていくことも大切です。自分の体と心にやさしく向き合いながら、より健やかで幸せな生活を送るための方法を一緒に学んでいきましょう。

### 事業案内

**日時** 9月13日(土) 13:30~15:30  
**会場** 三重県総合文化センター内  
 三重県男女共同参画センター  
 「フレンテみえ」3階 セミナー室C  
**対象** テーマに関心のある方  
**参加費** 無料  
**定員** 70名  
**講師** 森田敦子さん(植物療法士)  
**託児** あり 要事前申込 1歳6ヶ月~小学3年生程度  
 子ども一人につき1,000円  
 託児申込締切 8月30日(土)

# なぜ? なに? 男性のための相談 ???

情報誌Frente vol.100ではフレンテみえが開設している「男性のための電話相談」の開設回数が増えることをお知らせしました。ご覧になった方のなかには「なんで男女共同参画センターで男性のための相談をやっているの?」「男女共同参画センターって女性のためのものじゃないの?」といった疑問を持たれた方もいらっしゃるかもしれません。「『男女』共同参画」といっても、特に男性の方からすると「女性のため」と感じる方も多いようです。加えて男女共同参画センターがもと「女性センター」として設立されたことをご存知の方はよりそう感じるかもしれません。

確かに、今の世の中では様々な場面において男性のほうが優遇されていることが多いです。特に政治や経済の分野ではその傾向が顕著にあらわれています。同時期に入社し、同じように成果を上げていても、なぜか昇進するのは男性ばかり…。女性が選挙に出馬しようとする、「家のことはどうするつもり?」「子どもの世話は?」などと歯止めをかけられてしまうケースも多々あります。こうした現実を見ると、男性への支援よりも女性への支援をもっと増やすべきだと思うのも当然のことかもしれません。

しかし、男性はあらゆる分野において優遇されているのでしょうか?

男性は「強くあること」「弱音を吐かないこと」「競争社会を勝ち抜くこと」といったことを求められがちです。その結果、つらいことがあってもそれを誰にも相談できず、一人で抱え込んでしまい、より深刻な事例につながることも少なくありません。

ん。つらいときに誰にも相談できないのはほんとうにしんどいことです。

さらに勇気を出して相談したとしても、相談した相手から「男なんだからそんな情けないこと言ったらダメでしょ」「そんなんじゃない、男として格好がつかないよ」などと言われ、まともに取り合ってもらえないということも多々起こっています。これは私たちの社会が男性に対して「弱くあることを許さない」風潮が根強く残るがゆえに起きてしまう出来事です。男性であるというだけで相談することさえ許されない、そんな社会は果たして平等な社会なのか。私たちは今こそ考え直す必要があるのではないのでしょうか。

今必要なのは男女どちらか一方だけを押し上げるための支援ではなく、性別によって異なる困難を抱えている人たちに、それぞれに合った支援を届けることです。

フレンテみえの「男性のための電話相談」はこのような社会状況を十分に理解した相談員がお話をお聴きしています。性別による思い込みが強く残る社会だからこそ、男女共同参画センターで男性のための相談窓口を開設する意義があるのです。

## 男性の相談員による男性のための電話相談

毎月第1木曜日 17:00～19:00

毎月第4土曜日 10:00～12:00

直通ダイヤル **059-233-1134**

## フレンテみえって、なに?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください!

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ **検索**

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど… 性別にとらわれずに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

**女性のための電話相談** 秘密厳守・相談無料

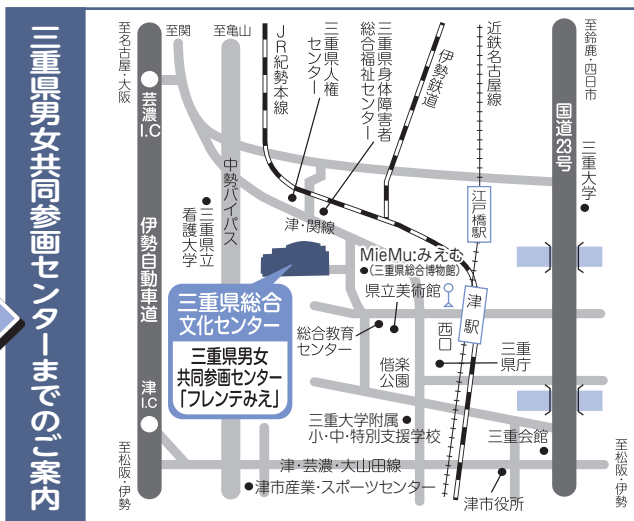
フレンテみえ相談室 **専用ダイヤル 059-233-1133**

| 相談時間          | 曜日  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| 朝 9:00～12:00  | 休館日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 昼 13:00～15:30 | 休館日 | ● | — | — | ● | ● | ● | ● |
| 夜 17:00～19:00 | ※   | — | — | ● | — | — | — | — |

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

\*このほか女性のための面接相談(法律相談・心理相談と男性のための電話相談みえ)にじりる相談を実施中。詳しくはお問い合わせください。

フレンテみえ相談室のご案内  
(切り取ってご利用ください)



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで) 交通 〇バス/津駅西口1番のりばから約5分 〇徒歩/津駅西口から約25分 〇自転車/伊勢自動車道芸濃インターから約10分、津インターから約10分 ※駐車場は1,400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター 三重県男女共同参画センター フレンテみえ 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地 TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135 URL: https://www.center-mie.or.jp/frente/ E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。